

宍道湖水環境改善協議会規約（案）

（名称）

第1条 本会の名称は、宍道湖水環境改善協議会（以下「協議会」という。）という。

（目的）

第2条 協議会は、宍道湖及び流域の総合的な水環境の改善について、共通課題の認識と連携協働した取り組みの推進を図り、もって恵み豊かな宍道湖の再生と流域住民の良好な生活環境を育むことを目的とする。

（事業）

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1）水質浄化に関すること。
- （2）生物の生育環境の保全に関すること。
- （3）親水環境の創出に関すること。
- （4）水環境改善に必要な資料の収集及び調査研究に関すること。
- （5）水環境改善意識の普及・啓発に関すること。
- （6）環境保全活動の推進に関すること。
- （7）関係機関との連絡調整に関すること。
- （8）その他協議会の目的達成に必要と認められる事項。

（構成）

第4条 協議会は、次の各号に掲げるもの（以下「構成団体」という。）をもって構成する。

- （1）国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所
- （2）島根県環境生活部
- （3）松江市
- （4）出雲市

（組織）

第5条 協議会は、構成団体の長（以下「構成員」という。）をもって組織する。

- 2 協議会に顧問及びオブザーバーを置くことができる。
- 3 協議会にワーキンググループを置くことができる。
 - （1）ワーキンググループには事務局を置き、構成団体の中からこれを選任する。

（役員）

第6条 協議会に次の役員を置く。

- （1）会 長 1名
 - （2）副会長 1名
 - （3）監 事 2名
- 2 前項の役員は、総会において構成員の互選により定めるものとし、その任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 任期の途中において改選又は異動があった場合の新任者の任期は前任者の残任期間とする。

(役員)の職務)

第7条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 3 監事は、会計を監査する。

(会議)

第8条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて、会長がこれを招集する。

- 2 会長は、構成員からの会議の開催請求があったときは、速やかに会議を招集するものとする。
- 3 会議には、必要に応じて、関係者及び学識経験者等を出席させ、意見を聞くことができる。

(幹事会)

第9条 協議会の事務を円滑に処理するため、協議会に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、構成団体の職員をもって組織する。
- 3 幹事会の運営について必要な事項は、構成団体が協議して、別に定める。

(事務局)

第10条 協議会に事務局を置く。

- 2 事務局は、会長の属する構成団体に設置する。

(経費)

第11条 協議会の運営に必要な経費は、構成団体の負担金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第12条 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 2 協議会の出納は、翌年度の5月31日をもって閉鎖する。

(事業計画)

第13条 事務局は当該年度の実施事業について事業計画を定め、総会において承認を得なければならない。

- 2 事務局は、事業計画に定めるもの以外の事業を実施しようとするとき、又は総会における委員の承認を得る以前に事業を実施しようとするときは、会長による決裁を受けなければならない。

(その他)

第14条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、構成団体が協議して、別に定める。

附 則

この規約は、平成24年7月19日から施行する。

附 則

この規約は、平成29年8月4日から施行する。

附 則

この規約は、平成30年7月10日から施行する。

平成29年度 事業報告

負担金事業

1. 中海・宍道湖一斉清掃 【資料編 p. 1-2】

宍道湖ならびに流入河川の沿岸住民・事業所等が一斉に清掃活動を行うもの。6月の環境月間の行事として平成7年から実施しており、平成29年度で23回目となる。ラムサール条約登録を契機に平成18年度から中海圏域と併せて実施している。

実施日 平成29年6月11日（日）

参加者数 宍道湖 82団体 5,182名(全体7,867名)住民、企業、団体等

ごみの量 宍道湖 9.68t(全体15.51t)

2. ヨシ関連事業

宍道湖の水質保全のためには、リンや窒素を吸収したヨシを定期的に刈り取って湖外に搬出するなど、ヨシ帯の適正な管理が必要である。引き続き刈り取り事業の実施と刈り取ったヨシの利活用事業に取り組んだ。また、当事業によって得られたヨシ紙の幅広い利用の促進や草抑えとしての活用を検討した。

〔ヨシ刈り取り事業〕 【資料編 p. 3】

実施日 平成29年11/25、12/9、平成30年2/24、3/3、3/14、3/26

実施場所 出雲市：宍道湖西岸なぎさ公園 南岸船着き場付近及び中央部
松江市：大垣町湖岸

参加者数 延べ336名（前年度395名）

刈取面積 約7,520㎡（前年度7,200㎡）

〔ヨシ紙、手すき用ヨシパルプの作成と活用〕

◆ヨシ紙すき体験教室の開催

実施日・・・平成29年11月19日（土）

実施場所・ ・ 出雲市斐川環境学習センター

実施内容・ ・ 宍道湖ヨシの生態や刈取りをはじめとする適切な維持管理の必要について説明したのち、宍道湖ヨシパルプで紙すきをして、はがきを作成した。

参加人数・ ・ 31名（出雲市内の小学4・5年生とその保護者）

◆環境啓発用メモ帳の作成

実施内容・ ・ ヨシ紙を活用し、環境関連の啓発用資材として50P綴りのメモ帳2種類1,500個を作成した。作成したメモ帳は、今後各団体で予定される環境関連のイベントにおいて積極的に配布し、水環境保全意識の向上に役立たせる。

◆ヨシ紙活用に向けた広報活動

実施内容・ ・ 松江水燈路で使用される行灯の材料として、松江市観光協会に対するヨシ紙の無償提供や、出雲・松江両市の小中学校における環境学習用教材など、ヨシ紙の活用を働きかけた。

◆ヨシ紙・手すき用パルプ製作

実施期間・ ・ 平成30年3月3日～3月30日

実施内容・ ・ ヨシ刈り取りボランティア事業において刈り取ったヨシを専門業者に委託し、ヨシ紙及び手すき用パルプを製作した。

製作数量・ ・ A3薄口紙 8,000枚 菊判薄口紙 7,540枚
手すき用パルプ 7kg

〔草抑えとしての活用〕 【資料編 p.4】

実施期間 平成29年5月～9月までに配布済み。

実施場所 西代橋（出雲市西代町）、だんだん大橋高架下（松江市東津田町）

事業概要 草抑えの活用として、配布を行い5月～9月までの期間で配布が終了。草抑えをすることにより、野菜への泥はね防止や作物の乾燥防止にもなる。

その他の利活用については、粘土と混ぜた土作りやしちりき（楽器）リード、よしず、かやぶき屋根などに利用された。

3. 環境関連啓発事業

宍道湖の水環境に興味を持つ契機とすることを目標に、水質調査や生物採捕など、水と直接的に触れ合うイベント、環境学習会、各種研修会等を開催した。平成29年度は特に若年層への啓発活動に注力した。

〔環境学習会：宍道湖とシジミ〕 【資料編 p. 5】

実施日 平成29年9月29日（金）

実施場所 松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン

事業内容 宍道湖漁協と連携し、シジミの生態やシジミ漁の流れ、水質とシジミの関係性等の説明をした後、実際にシジミを含む水生生物の採捕・観察をおこなった。

参加者数 17名（松江市立古江幼稚園の園児とその保護者、教員）

〔環境学習会：宍道湖とヨシ〕 【資料編 p. 6-7】

実施日 平成30年3月26日（月）

実施場所 宍道湖湖岸、宍道湖グリーンパーク（出雲市園町）、雲南 TRC さくらおろち牧場（雲南市木次町北原）

事業内容 ヨシを主眼に、松江・出雲両市の小学生から高校生を対象に、ヨシ刈取体験、水質・底生生物調査、水鳥観察、牧場厩舎（ヨシ壁）の見学を実施した。

参加人数 19名（出雲西高校インターアクトクラブ16名、こどもラムサークル探偵団3名）

[平成 29 年度全国シジミシンポジウムへの参加]

実施日 平成 29 年 11 月 18 日 (土)
実施場所 くにびきメッセ (松江市学園南)
実施内容 松江市で開催された「全国シジミシンポジウム」に参加した。
参加者数 協議会より 7 名が参加

[内中原小学校環境学習会]

実施日 平成 29 年 10 月 24 日 (火)
実施場所 堀川 (筋違橋、北惣門橋 他)、馬洗池
実施内容 堀川内の 5 地点において採水をおこない、宍道湖、北田川上流 (淡水域)、馬洗池 (松江城敷地内) の水質と比較することで、「堀川や宍道湖を取り巻く自然と環境」に関する理解を深めた。(測定項目: 透視度・COD・塩分濃度)
参加者数 60 名 (松江市立内中原小学校 5 年生と引率の教員 2 人)

4. 斐伊川水系の上下流交流事業

斐伊川流域における上下流住民の相互理解を深めることで、宍道湖だけでなく斐伊川水系全体の水環境改善の機運を高める。平成 29 年度は従来の環境保全を主体としたイベントに加えて、治水サイドと連携し、一方通行ではない互いが互いを意識しあえるようなイベントを実施した。

[斐伊川水系上下流交流イベント: 上流部と宍道湖] 【資料編 p. 8】

実施日 平成 29 年 10 月 15 日 (日)
実施場所 尾原ダム (雲南市木次町平田)、雲南地域づくり支援センター
実施内容 松江市大橋川治水事業推進課 (治水・利水サイド) と連携し、尾原ダム周辺河川の水質調査や生物調査 (宍道湖との比較)、尾原ダム堤体見学をすることで、斐伊川水系全体における水環

境保全や治水事業に対する取り組みの必要性について学んだ。

参加者数 14名（松江市12名、出雲市2名 7歳～75歳）

〔斐伊川水系上下流交流イベント：治水と利水と環境〕 【資料編 p. 8-9】

実施日 平成30年2月25日（日）

実施場所 宍道湖自然館ゴビウス、大橋川コミュニティーセンター、山陰合同銀行本店、松江市白潟町～天神町周辺、川向きサイクルプラザ（くりんぴーす）

実施内容 松江市大橋川治水事業推進課と連携し、雲南市・奥出雲町の住民を対象に現場見学（宍道湖自然館ゴビウス、大橋川コミュニティーセンター、山陰合同銀行展望室）、だんだんごちそう市場散策、紙すき体験（くりんぴーす）を通して、斐伊川水系全体における水環境保全や治水事業に対する取り組みの必要性について理解を求めた。

参加者数 28名（雲南市・奥出雲町の住民 4歳～71歳）

5. 調査・研究事業

宍道湖の水環境改善に対して、より効果的な対策・施策を提案するために、専門家による勉強会の開催、水草等の除去試験・継続監視を実施した。

〔専門家を招いた勉強会〕

共通テーマ 「宍道湖の水環境改善のために行政がいますべきこと」

◆第1回勉強会〈題目：私たちが求めてきた宍道湖 これまで、これから〉

実施日・・・平成29年10月2日（月）

講師・・・山室 真澄 氏（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）

実施場所・・・出雲市役所 3階 庁議室

参加者・・・協議会委員、幹事、担当者及び関係部署職員 計35名

【講演の概要】

- ・水草は貧酸素化と湖内環境悪化、漁場縮小に繋がるため、芽生える前に分布範囲を正確に把握し、徹底的に刈り取り、根絶やしにすべきである。
- ・シジミ漁獲量UP＝COD値の低下という関係性と、COD値上昇の原因となる有機物がシジミの餌になることを考えれば、別途にCOD値低下のための取り組みは必要ない。
- ・内水面漁業への環境整備、振興のためには、汽水域における漁業に特化した研究施設の誘致など、積極的な取り組みが必要である。

◆第2回勉強会〈題目：環境分析化学・生物地球学から考える水質改善〉

実施日・・・平成30年2月7日（水）

講師・・・清家 泰 氏（島根大学エスチュアリー研究センター特任教授）

実施場所・・・エコクリーン松江 2階 研修室

参加者・・・協議会幹事、担当者及び関係部署職員 計 26名

【講演の概要】

- ・宍道湖における貧酸素化問題や水草対策、富栄養化問題などは根本的な原因が不明確なことも多い。そのことから、諸問題への対策に資する調査研究の推進が必要である。
- ・調査研究の推進に対し、行政機関は縦割り行政の見直しによる連携強化や、研究者への調査研究費補助が必要である。

〔水草等の除去試験区の継続監視〕

実施期間 平成29年4月～7月末

実施場所 松江市大垣町地先より沖合100mの地点

実施内容 宍道湖漁協・島根県と連携し、平成28年度に実施した宍道湖に繁茂する水草等除去試験区の継続監視をおこなった。

【試験結果】

- ・平成29年3月29日、噴流式マンガ及び機械掻きジョレンを用いた水草除去の比較試験を実施。
- ・作業効率は、広範囲になれば機械掻きジョレンよりも噴流式マンガが良好であることがわかった。
- ・除去効果は、2ヶ月後までは継続していたが、4ヶ月後には明確な効果は見られなくなった。

連携事業

1. 砂浜再生プロジェクト 【資料編 p.10-11】

「松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン」において、「湖沼環境モニター」による評価を得ながら、流域住民への効果的な周知と利用促進を展開した。この他に将来的な候補地の可能性を調査した。また、松江市内の幼稚園児童を対象に、湖岸親水ゾーンを会場とした環境学習を開催するなど、宍道湖の水環境に興味を持ってもらうようイベントを実施した。定期的に砂浜の除草作業やゴミ拾いを実施するなど維持管理にも努めた。

事業主体 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所・松江市（親水ゾーン管理）、島根県（モニター定期調査）

実施場所 イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン（松江市西浜佐陀町）

実施内容 ・定期清掃の実施（4月27日（木）・8月21日（月）に実施）
・波による砂の変動モニタリング調査、砂追加の有効性検証
・モニターによる定期調査

2. 覆砂事業 【資料編 p.12-18】

水産技術センターが実施しているヤマトシジミモニタリング調査の中で、魚探を用いて覆砂試験区の持続性（形状）およびシジミの動向を調査した。

事業主体 島根県
調査箇所 宍道湖西岸（出雲市斐川町空港北沖）
宍道湖北岸（松江市秋鹿沖）
宍道湖南岸（松江市宍道町来待沖）
調査内容 8月30日に底質、水質、シジミの生息状況を実施。

3. 水草対策

宍道湖に係る水草対策については、国・県・市が連携して取り組んできたところである。また、水草等の刈り取り試験の実施や島根大学に委託し中海宍道湖のシオグサに関する研究を行っている。

〔島根県水草等対策庁内検討会議〕 【資料編 p. 23-30】

近年、宍道湖及び堀川等流域河川において水草が異常繁茂し、県としても必要な対策等を全庁的に検討するため、庁内検討会議を立ち上げ、今後の調査計画や取り組みについて検討した。

事業主体 島根県
調査内容 水草等対策庁内検討会議（会長：副知事）
（第1回：平成29年9月22日、第2回：平成30年2月14日）

〔水草等の刈り取り試験〕 【資料編 p. 31-32】

事業主体 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所
目的 刈り取り試験は、①効率的な刈り取り方法の確認、②刈り取り後の水草等の生育状況の確認（定期的な観察）を目的とする。
試験箇所 松江市玉湯町湯町沖 20m×20m×2箇所
試験内容 2種類の建設機械を用いて刈り取りの効率性を検証。
・台船＋バックホウ（スケルトンバケット）
・台船＋クローラクレーン（クラムシェル）
「台船＋バックホウ」が優位な結果となった。

〔研究活動〕

事業主体 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所
委託先 島根大学（研究・学術情報機構エスチュアリー研究センター 齋藤
文紀教授 他）
期 間 平成 28 年度～平成 30 年度
テ ー マ 中海宍道湖のシオグサに関する研究
内 容 シオグサの異常繁茂の原因究明、分解による底層の貧酸素化等への
影響解明、シオグサの有効な除去対策の検討

平成29年度 宍道湖水環境改善協議会 決算書

【歳入】

(単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A)	備考
1 負担金	2,782,000	2,782,000	0	松江市 2,002,000 出雲市 780,000
2 繰越金	177,760	177,760	0	
3 諸収入	240	13	△ 227	預金利息
合計	2,960,000	2,959,773	△ 227	

【歳出】

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)-(A)	備考
1 会議費	90,000	28,563	△ 61,437	会場使用料等
2 事務費	50,000	37,189	△ 12,811	消耗品、振込手数料等
3 事業費	2,770,000	2,261,338	△ 508,662	
1 中海・宍道湖一斉清掃	310,000	271,182	△ 38,818	ごみ収集運搬委託料253千円 等
2 ヨシ関連事業	998,000	1,235,963	237,963	ヨシ紙製作委託648千円、ヨシ運搬費140千円、メモ帳作成170千円
3 環境関連啓発事業	550,000	385,441	△ 164,559	ウェブサイト保守委託料254千円、環境学習経費 等
4 斐伊川水系の上下流交流	520,000	262,610	△ 257,390	上下流交流事業経費
5 調査研究	392,000	106,142	△ 285,858	勉強会講師謝金等
4 予備費	50,000	0	△ 50,000	
合計	2,960,000	2,327,090	△ 632,910	

歳入合計	2,959,773
歳出合計	2,327,090
差額	632,683

(次年度繰越額)

平成29年度 会計監査報告

本決算書は、証拠書類と照合の結果、適正であることを認める。

平成30年 5月 31日

監事 島根県 環境生活部長

松本修吉



平成30年度事業計画（案）

負担金事業

1. 中海・宍道湖一斉清掃 【資料編 p.33】

宍道湖ならびに流入河川の沿岸住民・事業所等が一斉に清掃活動を行うもの。6月の環境月間の行事として平成7年から実施しており、平成30年度で24回目となる。ラムサール条約登録を契機に平成18年度から中海圏域と併せて実施している。

実施日 平成30年6月10日（日）

参加者 宍道湖 72団体 4,065人(全体 7,050人)住民、企業、団体等

ごみの量 宍道湖 8.06t(全体 12.63t)

2. ヨシ関連事業

宍道湖の水質保全のためには、リンや窒素を吸収したヨシを定期的に刈り取って湖外に搬出するなど、ヨシ帯の適正な管理が必要である。引き続き刈り取り事業の実施と刈り取ったヨシの利活用事業に取り組む。また、当事業によって得られたヨシ紙の幅広い利用の促進や草抑えとしての活用を検討する。

[ヨシ刈り取り事業]

実施時期 平成30年12月～平成31年3月末（年4回程度を予定）

実施場所 「宍道湖西岸なぎさ公園」湖岸（出雲市斐川町坂田）

「宍道湖自然館ゴビウス」付近湖岸（出雲市園町） 他

[ヨシ紙、手すき用ヨシパルプの作成]

実施内容 刈り取ったヨシを使い、ヨシ紙と手すき用ヨシパルプを作成し、環境学習用資材として市内の学校へ提供するとともに、紙すき体験教室などに利用する。

〔草抑えとしての活用〕 【資料編 p. 34】

事業概要 刈り取ったヨシを市民に提供し、草抑えとしての活用について協力可能な個人・団体を募るなど、広い範囲での利活用を図る。

実施期間 平成30年4月～6月

配布先 松江市竹矢地区（柿畑の草抑え）ほか

3. 環境関連啓発事業

宍道湖の水環境に興味を持つ契機とすることを目標に、小学生や若い世代を対象に、水と直接的に触れ合うようなイベント、環境学習会、各種研修会等を開催する。また、新聞広告を活用し本協議会の意義を周知し、水環境保全意識啓発に努める。

〔環境学習会：手長エビ採り体験〕 **新規**

事業概要 宍道湖の豊かな自然に触れてもらい、郷土愛や水環境への理解を深めてもらうことを目的にエビ採り体験を実施する。

開催場所 千鳥南公園水辺（松江市役所前）

事業対象 18歳からおおむね30歳まで

実施時期 平成30年8月10日（金）

〔環境学習会：シジミ採り体験〕 **新規**

事業概要 宍道湖の豊かな自然に触れてもらい、郷土愛や水環境への理解を深めてもらうことを目的に日本シジミ研究所と協力し、シジミ採り体験や宍道湖産シジミを使ったみそ汁の試食会など実施する。

開催場所 宍道湖湖岸（松江市玉湯町（日本シジミ研究所水辺））

事業対象 小学生とその家族

実施時期 平成30年8月23日（木）（夏休み期間中）

〔環境学習会：ヨシ紙すき体験教室〕

事業概要 刈り取ったヨシで作成したヨシパルプを利用し、ヨシ紙すき体験を行い、はがきの作成を行う。

開催場所	斐川環境学習センター
事業対象	松江市・出雲市在住の小学生
実施時期	平成30年8月12日（日）（夏休み期間中）
[啓発の取り組み]	新規
事業概要	新聞広告を活用し本協議会の意義を周知し、水環境保全意識啓発に努める。 山陰中央新報（りびえーる出雲エリア）4分の3広告
実施時期	平成31年2月第2又は第4日曜日に掲載

4. 斐伊川水系の上下流交流事業

治水サイドと連携し、斐伊川流域における上下流住民の相互理解を深めることで、宍道湖だけでなく斐伊川水系全体の水環境改善の意識を高めるイベントを実施する。

[斐伊川水系上下流交流イベント：下流部住民→上流部]

事業概要	尾原ダム等各種施設の見学や、治水と水環境保全を絡めた学習会を実施する。
開催場所	尾原ダム、雲南市・奥出雲町の各種施設 他
事業対象	松江・出雲の小学生とその家族
実施時期	平成30年10月（さくらおろち湖祭り開催日）

[斐伊川水系上下流交流イベント：上流部住民→下流部]

事業概要	水質調査や治水事業関連の施設見学し、斐伊水系下流部における水環境や治水・利水への取り組みについての学習会を実施する。
開催場所	宍道湖（クルーズ船）、大橋川コミュニティセンター他
事業対象	斐伊川水系流域の住民
実施時期	平成30年11月

5. 調査研究事業

宍道湖の水環境改善に対して、より効果的な対策・施策を提案するために、平成 29 年度に引き続き専門家による勉強会の開催、および国・県と連携した水草対策を行う。

〔専門家を招いた勉強会〕

事業概要 「宍道湖水環境改善のために行政がいますべきこと」をテーマに専門とする識者を招聘して委員への講義・意見交換をおこなうもの。

事業対象 協議会委員、幹事、担当者

実施時期 平成 30 年 11 月

〔水草対策〕 **新規**

事業概要 宍道湖で繁茂する水草対策について、国・県と連携し水草対策を実施する。

連携事業

1. 砂浜再生プロジェクト 【資料編 p. 35-36】

「松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン」については、継続して環境モニタリングを実施し、平成30年度は効果を検証し、毎年7月頃実施する沿岸環境検討会で報告を行う。流域住民への効果的な周知と利用促進を展開する。また、このほか事業連携として新たな候補地の可能性を検討していく。

事業主体 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所・松江市（親水ゾーン管理）、島根県（モニター定期調査）

事業箇所 松江イングリッシュガーデン湖岸親水ゾーン（松江市西浜佐陀町） 他

※浅場造成事業 平成30年度は鹿園寺箇所を実施予定

2. 水草対策

宍道湖に係る水草の大量繁茂における対策については、国・県・市が連携して取り組みを行うこととしている。平成30年度も水草の繁茂状況について情報共有するとともに、当年度の調査計画や取り組みについて検討を行う。

〔水草等の刈り取り試験〕 【資料編 p. 37】

事業主体 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

目的 刈り取り時期による生育状況の違いと刈り取り後の水深帯別の生育状況の違いを検証する。

試験内容 ①刈り取り時期による生育状況の違いを検証

・試験箇所 玉湯（松江市）

・試験時期 6月、7月、8月

②刈り取り後の水深帯別の生育状況の違いを検証

・試験箇所 東来待（松江市）

・試験時期 7月

③沿岸域の間引き刈り取りによる寄藻状況の検証

- ・試験箇所 鹿園寺（出雲市）
- ・試験時期 7月

〔研究活動〕

事業主体	国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所
委託先	島根大学（研究・学術情報機構エスチュアリー研究センター 齋藤文紀教授 他）
実施時期	平成28年度～平成30年度
テーマ	中海宍道湖のシオグサに関する研究
内容	シオグサの異常繁茂の原因究明、分解による低層の貧酸素化等への影響解明、シオグサの有効な除去対策の検討

〔水草根こそぎ除去実証試験事業〕 【資料編 p. 38】

事業主体	島根県
実施時期	平成30年11月
実施場所	宍道湖沿岸（検討中・今後調整）
事業概要	<p>水中に生えている水草の根こそぎ除去方法を実地において検証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月 契約（装置設計・製作、除去作業） ・平成31年1月 結果とりまとめ（国交省等へ情報提供） <p>回収した水草の水切り・乾燥、利活用・処分については、関係機関と協議し実施</p>

〔地域プラットフォーム形成支援事業（国土交通省公募事業）〕

【資料編 p. 39】

事業主体	島根県
実施時期	平成30年7月～
事業概要	国土交通省委託のコンサルタントを活用して、地域における官民連携による水草の回収・資源化から利活用まで

のスキームの確立等（地域プラットフォームの形成・活用）を図る。

〔湖沼底層溶存酸素・沿岸透明度改善モデル事業（環境省公募事業）〕

【資料編 p. 40-41】

事業主体	島根県
実施時期	平成30年7月～平成31年3月
実施場所	宍道湖北岸（秋鹿沖）
事業概要	水草等が異常繁茂する沿岸域（水深約2m）において、繁茂期の前から等深線に沿うように一定範囲（幅約3m×長さ約100m×1本、幅約3m×長さ約50m×1本）の湖底を定期的（概ね週1回）に漁具等で掻き、水草等を除去し繁茂抑制する。こうした効率的な除去方法により掻き取りの範囲及びそれらの間に残る水草等の繁茂範囲（幅約10m）において底層溶存酸素量が高く維持されるか検証する。

〔宍道湖の緊急時における水草の回収事業〕 【資料編 p. 42】

事業主体	島根県
実施時期	水草の腐敗により容易に感知できる悪臭が確認され、知事が必要と認めた場合
事業概要	河川管理者である国土交通省が既に水草の回収を行っているが対応しきれない場合において、国土交通省及び松江市又は出雲市から要請があった場合に協議の上、県が緊急的な回収を実施（委託）する。

【議案 第5号】

平成30年度 宍道湖水環境改善協議会 予算書 (案)

【歳入】

(単位：円)

費目	H30予算額	H29予算額	前年比増減額	備考
1 負担金	2,782,000	2,782,000	0	(面積割り積算) 2,782,000 松江市 2,002,000 出雲市 780,000
2 繰越金	632,683	177,760	454,923	前年度繰越金
3 諸収入	17	240	△ 223	預金利息
合計	3,414,700	2,960,000	454,700	

【歳出】

費目	H30予算額	H29予算額	前年比増減額	備考
1 会議費	40,000	90,000	△ 50,000	
需用費	10,000	20,000	△ 10,000	資料印刷費等
使用料及び賃借料	30,000	70,000	△ 40,000	総会開催時会場使用料等
2 事務費	78,000	50,000	28,000	
需用費	70,000	40,000	30,000	消耗品等
役務費	8,000	10,000	△ 2,000	郵送料、振込手数料等
3 事業費	3,181,500	2,770,000	411,500	
1 一斉清掃	310,000	310,000	0	
役務費	30,000	30,000	0	参加団体連絡用切手代
委託費	280,000	280,000	0	ごみ運搬委託料
2 ヨシ関連事業	1,140,000	998,000	142,000	
需用費	90,000	98,000	△ 8,000	消耗品等
役務費	130,000	150,000	△ 20,000	傷害保険料、郵送料等
委託費	920,000	750,000	170,000	ヨシ紙・パルプ作成委託等
3 環境関連啓発事業	915,500	550,000	365,500	
報償費	6,500	0	6,500	講師謝金
需用費	89,000	40,000	49,000	消耗品等
役務費	520,000	10,000	510,000	新聞広告料
委託費	300,000	500,000	△ 200,000	ウェブサイト保守等
4 斐伊川水系の上下流交流	505,000	520,000	△ 15,000	
需用費	10,000	10,000	0	消耗品等
役務費	5,000	10,000	△ 5,000	参加者保険料、郵送費等
委託費	300,000	500,000	△ 200,000	事業運営委託等
使用料及び賃借料	190,000	0	190,000	バス借上げ・施設利用料
5 調査研究	311,000	392,000	△ 81,000	
報償費	14,000	42,000	△ 28,000	講師謝金
旅費	55,000	192,000	△ 137,000	講師旅費
宿泊費	13,000	48,000	△ 35,000	講師宿泊料
需用費	0	10,000	△ 10,000	
委託費	200,000	100,000	100,000	水草対策
使用料及び賃借料	29,000	0	29,000	会場使用料
4 予備費	115,200	50,000	65,200	
合計	3,414,700	2,960,000	454,700	

【議案 第6号】

宍道湖水環境改善協議会 役員の改選（案）

会 長

松江市長 松 浦 正 敬

副会長

出雲市長 長 岡 秀 人

監 事

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所長 大 作 和 弘

島根県環境生活部長 松 本 修 吉

〔 任 期 〕

平成30年7月19日 から 平成32年7月18日 まで

平成30年度 宍道湖水環境改善協議会 名簿（案）

委員

任期 平成30年7月19日から2か年

協議会役職	構成機関	職	氏名	備考
会長	松江市	松江市長	松浦 正敬	
副会長	出雲市	出雲市長	長岡 秀人	
監事	島根県環境生活部	環境生活部長	松本 修吉	
監事	国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所	事務所長	大作 和弘	

幹事

	構成機関	所属役職	氏名	備考
幹事長	松江市	環境保全部長	山内 政司	
	出雲市	経済環境部環境担当部長	赤木 亮一	
	島根県環境生活部	環境政策課長	小池 誠	
	国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所	副所長	村松 清	

事務局

	構成機関・所属	所属役職	氏名	備考
事務局長	松江市環境保全部環境保全課	環境保全部次長 (環境保全課長事務取扱)	桜井 浩	
	松江市環境保全部環境保全課	環境総務係長	石倉 裕之	
	松江市環境保全部環境保全課	主幹	伊藤 航	
	松江市環境保全部環境保全課	主任主事	藪木 南緒	
	松江市環境保全部環境保全課	主事	久保田 海里	

担当者会議

構成機関	所属	所属役職	氏名	連絡先
松江市	環境保全部 環境保全課	環境保全部次長 (環境保全課長事務取扱)	桜井 浩	松江市学園南 1-20-43 TEL 0852-55-5271 FAX 0852-55-5497 k-hozen@city.matsue.lg.jp
		環境総務係長	石倉 裕之	
		主幹	伊藤 航	
		主任主事	藪木 南緒	
		主事	久保田 海里	
出雲市	経済環境部 環境政策課	環境政策課長	森山 賢次	出雲市今市町 70 TEL 0853-21-6987 FAX 0853-21-6597 kankyouseisaku@city.izumo.lg.jp
		課長補佐	加納 和明	
		主任	原 豊美	
島根県 環境生活部	環境政策課 宍道湖・中海対策推進室	室長	大呂 英樹	松江市殿町 1 番地 TEL 0852-22-6445 FAX 0852-25-3830 nagasima-masaaki @pref.shimane.lg.jp
		調整監	松尾 豊	
		主幹	永島 正章	
国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所	計画課 河川環境室	室長 (建設専門官)	眞田 淳二	出雲市塩冶有原町 5-1 TEL 0853-20-1763 FAX 0853-21-2878 hosogi-m87ca@mlit.go.jp
		係長	細木 雅博	
		技官	鷲 永司	

ヨシの維持管理・利活用に関するワーキンググループ

構成団体	部署	備考
島根県	環境生活部 環境政策課	
	農林水産部 水産課	
	農林水産部 農産園芸課	
	教育庁 教育指導課	
松江市	環境保全部 環境保全課	
出雲市	経済環境部 環境政策課	
出雲河川事務所	計画課 河川環境室	事務局